



図書館でのルーチンワークから紡ぐ知識と好奇心

大阪工業大学 図書館長 工学部 建築学科 教授 **寺地 洋之**

昨年の11月に図書館長に就任しました。近年、図書館へはほとんど出向かなくなっていましたが、館長就任以降は、ほぼ毎日図書館業務のために図書館に出向いています。図書館に行くと、同じ人が同じ机で、勉強や調べ物をしている姿をよく見ます。多分、お気に入りの机があり、そこでのワークが心地よいのだと思いますが、その姿は約40年前の自分と同じだなと懐かしく記憶を重ね合わせます。和歌山の田舎から出てきた私は、便所共有の4畳半の汚い木賃アパート(家賃1万円)を借りていました。当然クーラーなどなく、真夏や真冬の環境は過酷で、この4畳半では、図面を作図して寝る場所と割り切り、座学系の勉強は大学図書館を活用させてもらいました。

大学生時代、図書館をヘビーユーズさせてもらっていた私ですが、いくつかのルーチーンワークを課しておりました。その一つに、月初めの土曜日午後に図書館の専門雑誌ゾーンに陣取り、国内外の建築系の雑誌すべてに目を通す、というものです。このルーチンは大変楽しく、世界の設計やデザインの動向を把握できることで自分に知識やデザインの引き出しが増えていく実感がありました。特に当時の海外建築専門誌で人気であった、CASABELLA、domus、L'architecture d'aujourd'hui などからは強い影響を受けました。これらの雑誌は、洋書独特の匂いがし、版の大きさや、厚さ、編集方針なども異なり、デザインの幅広さも誌面から学びました。ま

た、誌面の狭間にある広告などからも西欧の生活感を感じることができ、いつかは海外に行ってみたいと強く思う契機となりました。他のルーチンとして座学の勉強で疲れた合間に、専門分野である建築学以外の本棚を彷徨い、気になる本を手にとって斜め読みすることをしていました。特に社会学や自然科学の分野などに惹かれ、リチャードドーキンスの利己的遺伝子論や自然界に存在するフィボナッチ数列法則などに「そんな考え方や論理があるのか」と心動いたことを思い出します。

大学低学年のころは「建築学を早く修得したい、 知識を身につけなければ」という義務的であせりの ようなものがありましたが、学べば学ぶほど学問の 裾野の広がりと深さを感じ、徐々に建築学は一生学 び続けるものなのだ、と達観しました。また、建築 とともに様々な領域の本に触れることで「なぜだろ う、もっと知りたい」という知的好奇心の扉を大き く開く一翼を担ってくれたのが大学図書館でした。

館長として図書館に毎日出向くことになった私は、これを好機ととらえ、業務のついでに図書館の本棚を彷徨い、知の大海から新たな好奇心を見いだそうと思っています。みなさんも知の大海である図書館へ来てください。Webサーフィンでは得がたい、知識の広さと深さをリアルな本から感じ、知的好奇心を醸成するきっかけを掴んでください。スタッフ一同、来館をお待ちしています。



ようこそ工大図書館へ

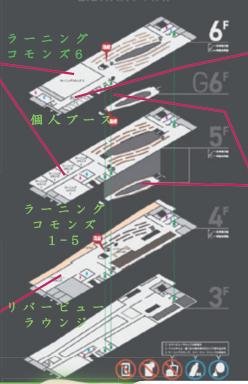
大宮本館



5階と6階に計6部屋あるラーニングコモンズは個人での予約はもちろん団体での貸切予約もできます



淀川を一望できるリバー ビューラウンジは喫茶、談話 が可能な憩いのスペース



学修、オンライン面接など にも使える個人ブースは 6部屋設置(2時間制)



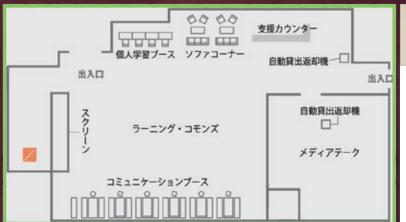
4階から6階まで吹き抜けとなっており4.5階は教員が学生に薦める図書、5.5階(G6)はギャラリーとなっています



専用アプリをダウンロードすることで、カウンターや 貸出機を使わずに貸出ができます。

大宮本館は昨年7月に新5号館に移転しました。南北に分かれた書架の窓際には4階から6階まで全席に電源コンセントを設けた、合計 I 74席の閲覧スペースがあります。北側の閲覧スペースからは北摂や六甲の山並みと淀川のせせらぎなど、たおやかな自然を感じることができます。各階を繋ぐ中階層は、貴重図書や記念図書を展示した『G6 (ギャラリー)』と、本学教員が学生に向けたお薦めの図書や教員図書が360度配架された『ブックキャニオン』で構成されています。4階には喫茶や談話を楽しめる『リバービューラウンジ』があり、天気や気候の良い日はここから淀川を望むテラスへと出て気持ちをリフレッシュすると好いかもしれません。5階と6階にある学修スペース『ラーニングコモンズ』は、プロジェクト活動やミーティングなど大学生活に彩りを加える活動場所として、たくさんの学生に利用されています。

梅田分館



メディア テーク⇒





←ラーニングコモンズの大きな覧りがのぞく

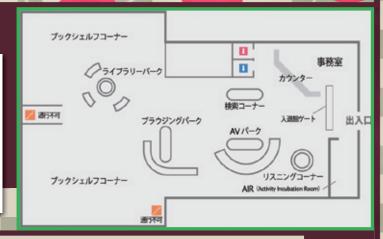
梅田分館の図書室はメディアテークと呼ばれ、梅田キャンパスの学部の専門分野を中心とした約13000冊の所蔵図書と、学内ネットワーク上であればどこからでも閲覧できる電子ブック、電子ジャーナルなどがあり情報の充実した施設です。ラーニングコモンズは吹き抜けとなっていて開放感があり、大きな窓からのぞく景色からは大阪の中心地であることが感じられます。梅田分館から外に出るとキャンパスフォレストがあり、そこに植えられた約100種類の植物すべてに解説板とQRコードが付いています。このQRコードを読み取ることでその植物の特徴を詳しく学べるため、キャンパスフォレストは学生達の憩いの場としてだけでなく、リアルな植物図鑑としての側面も持っています。





様々な映像作 品を取り扱っ たAVパーク□>

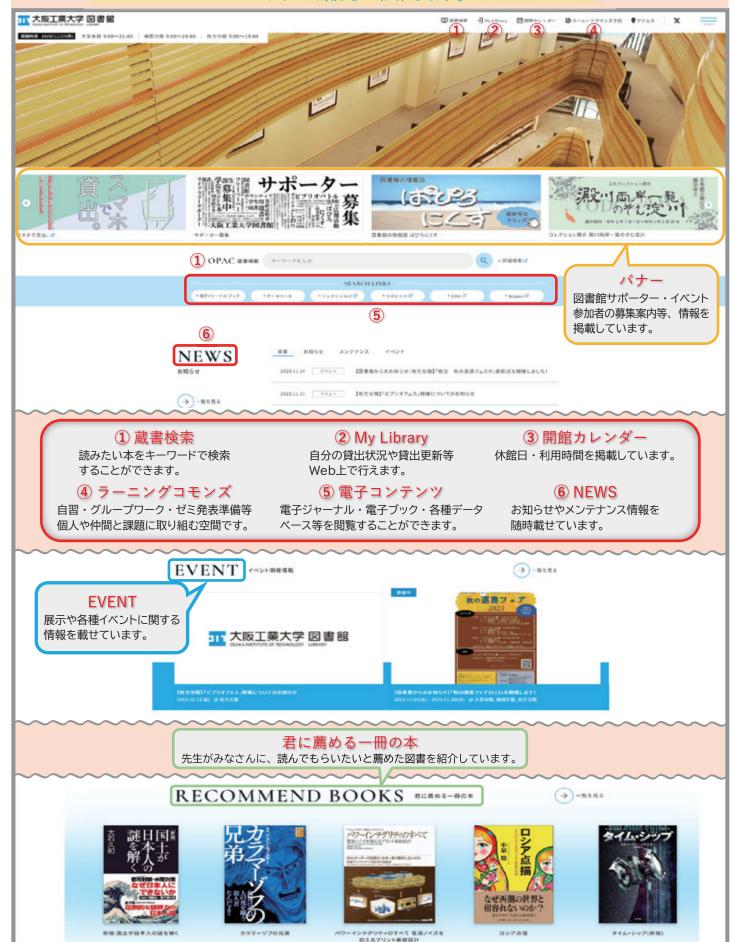
枚方分館



枚方分館の図書館は約70000冊の所蔵図書を有し、その1/3は情報科学系の図書となっています。学修活動に沿った所蔵でありながら館内の至る所に季節ごとのテーマにそった展示コーナーや時事問題を取り扱った特集コーナーが設けられているなど、様々なジャンルを扱った親しみやすい図書館です。広い館内にはソファーでくつろぎながら読書ができるスペースの他、学修映像資料や話題の映画を個人でも友人とでも楽しめるブースもあります。組み合わせ自由な机と椅子、ホワイトボード完備のラーニングコモンズは自習やグループワークに最適な環境です。

図書館HPを使いこなそう

新5号館への移転を機に、図書館ホームページをリニューアルしました。 ここでは主な機能をご紹介します。



君に薦める一冊の本



工学部 電気電子システム工学科

教授 見市 知昭

ぱぴろにくすは図書館が好きな人が読まれていると思います。私も図書館が好きです。ただ実は本はあまり読みません。読み始めると夢中になるので、それを抑制しているというのが原因のような気がします。すみません、只の言い訳です。さて、そんな私が何の本を薦めるのかというと〇〇ハンドブックという図書になります。ハンドブックとは便覧のような必要な事項を簡潔に説明した参考図書の一種という意味がありますが、百科事典と変わらない巨大なものもあり、今回は後者のものとなります。電気系の分野であれば、電気工学ハンドブックというものがあり、他の分野でも各種ハンドブックが存在しています。

私が最初にハンドブックと出会ったのは、大学院修士課程の頃です。自分の研究で用いている放電プラズマがどういうものなのかを調べるために、大学図書館に籠り、高電圧・放電工学の専門書を読み漁っていました。この手の専門書は数多くあるものの、調べたい内容が書かれていない、説明の内容が本ごとに微妙に異なっているなどといった具合で、何が正解なのかもわからなくなるという事態に陥りました。そんな時、偶然見つけたのが放電ハンドブックでした(一般的にハンドブックは専門書コーナー以外のところに置かれています)。

手に取ったハンドブックは 20 数年前の当時では 新書籍でした。多くの専門家が集まって、十分な議

『電気工学ハンドブック』



著 者 名 | 電気学会 編出版 社 | オーム社出版 年 | 2013年

【大宮本館】
配置場所 | 4F 集密参考
請求記号 | 540.36||D
資料 | D | 11301060
【梅田分館】
配置場所 | 普通図書
請求記号 | 540.36||D
資料 | D | 71607071
【枕方分館】

【枚方分館】 配置場所 | 手配中 請求記号 | 資料 | D |

論をしたうえで執筆していったのでしょう。専門書ではカットされていた内容がこれでもかと書かれていて、夢中になってページをめくった記憶が今でも残っています。また体系的にまとめられているので、全体を把握する際に有効です。ただ、結局自分の研究で用いている放電プラズマが何に分類されるのかはよくわからなかったのですが。それでも内容が面白かったので何度も図書館に通って読んでいました(禁帯出だったので)。

放電ハンドブックは残念ながら 1998 年発行とな っており、その後も改訂版は出ていませんので、特に 本学科の学生には電気工学ハンドブック (第7版) をお薦めしたいと思います。謳い文句がまた凄くて、 「電気工学分野の金字塔」です。放電ハンドブックほ どマニアックではないですが、幅広い電気工学分野 を細分化して、それぞれを詳しく説明しています(全 47編です)。電池や家電の話なども専門書よりも詳し く書いている部分があるので、手元にある教科書で は物足りない人は手に取ってみてはいかがでしょう か。数式以外の部分も多く読み物としても優れてい ると思います。情報社会で何でもネットで入手でき る時代となりましたが、百科事典並みの膨大な情報 ともなると手元で見た方が快適ですよね。他の学科 の学生さんも自身の分野にあったハンドブックを探 してみてください。専門分野の理解がより深まると 思います。

Library supporter

ライブラリーサポーターとは、より魅力的な図書館にすることを目 的とした学生によるボランティア活動です。 主な活動内容は図書館で購入する本の選書、選書した本の展示や

POPの作成、定期的に発行される図書館報「ぱぴろにくす」で連載 中の200字書評への寄稿、書架整理、配架などです。他にもフリー アップーの発行、オリジナルしおりの作成など、大宮・梅田・枚方 の各館で様々な活動を行っています。活動実績によってはアチーブ メントシート(ボランティア活動の業績証明書)が交付されます。

2024年度の活動予定

<3館共通> . ビブリオバトルの開催・参加

・おすすめ本の紹介・展示

<大宮本館>

・図書館で配架する本の選定 · オリジナルしおりの作成

~梅田分館>

フリーペーパーの作成 ・書架を学生が見やすいように整理

~枚方分館>

フリーペーパーの作成

· オリジナルしおりの作成



ライブラリー サポーター 募集中!

応募フォームは こちら!





新入生に贈る

ヴェネッィアに死す 日本元:中

◆大宮本館所蔵 配置場所: 工大 4F 文庫本 請求記号: 943.7//M 資料 ID: 91070558

CHANDLER

長いお別れ

『ヴェネツィアに死す』

著:マン・トーマス 訳:岸 美光 出版:光文社

この作品は勤勉に生きてきた老紳士が旅行先でふと見かけた美少年を切っ掛けに、 破滅へと向かう小説です。美少年タッジオとそれに反比例するヴェネチアの描写。 そしてつい美しいものを追ってしまうという心理を描いた、作品です。 古典作品ですが、最近のストーカーや同性愛などにもつながる話です。 読みやすいので、ぜひご一読ください。

●新入生へのメッセージ●

大阪工大へのご入学おめでとうございます!! 図書館、めちゃ綺麗になったので一度、来てみてください。

知的財産学科4年 山中 翔太



『長いお別れ(ザ・ロンググッドバイ)』

著:レイモンド・チャンドラー 訳:清水 俊二 出版:早川書房

レイモンドチャンドラー作の探偵フィリップマーロウを主役においたハードボイル ド小説の一作。読み始める前はマーロウのことをハードボイルドの名の通り堅物の ような人物だと思っていたが、皮肉屋ではあるものの女性にうつつを抜かしたり、 友人の為に自分が牢獄に入ったりするなど人間臭い箇所があり好感が持てた。 その探偵の一人称の語りから構築されるハードボイルドな世界観や伏線の張り方が とても良かった。

●新入生へのメッセージ●

講義で分からない箇所がでても学校内でサポートしてくれる施設が たくさんあるのでどんどん使いましょう!

ロボット工学科3年 山上 赳史



配置場所: 工大 6F 一般図書 棚 31 請求記号: 913.6//M 資料 ID: 91081709

◆枚方分館所蔵 配置場所:工枚普通図書 請求記号:913.6//M 資料 ID:98080808

『告白』

著:湊かなえ 出版:双葉社

「愛美は死にました。しかし事故ではありません。このクラスの生徒に殺されたの です。」とある中学校のホームルーム、教師の告白からこの物語は始まります。 「告白」の名前の通り、独白形式で話が進んでいきます。 様々な人が「告白」していくのです。しかし、その「告白」は嘘が混じったり、 支離滅裂だったりもします。一つ一つの「告白」をひもといていく、名作ミステリ 衝撃のラストに目が離せません。

●新入生へのメッセージ●

新入生の皆さんご入学おめでとうございます! まずは頑張った自分を労りながら自由を楽しんでくださいね

都市デザイン工学科3年 中尾 優空

図書館からのお知らせ



2023年度図書館活動報告

春

ライブラリーツアー

新入生を中心として、図書館内を 案内しました。

梅田分館

枚方分館 -春の英語まつり -図書館道場「目指せ!数学クイズの

達人 2023 in 梅田」





夏



工大ウォッチング大賞 -作品募集期間-

大阪工業大学図書 館が2007年から毎 年開催しているデ ザインコンテスト です。学生の皆さ んから作品を募集 し、投票で各受賞 作品を決めました。



学習支援 英語企画

枚方分館 秋の英語フェスタ





......

大宮本館 Monster English& 狩りに行こう2023





梅田分館 目指せ! 英語の達人





秋の選書フェア



工大ウォッチング大賞 -授賞式-



通年

特集展示

クイックガイダンス

わからないことがすぐに聞ける クイックガイダンス開設

ライブラリーサポーター活動

図書館学生ボランティアを 随時募集



開館時間

• 大宮本館

月~金 9:00~21:00 土 9:00~19:00

• 梅田分館

月~金 9:00~20:00

± 9:00~17:00

• 枚方分館

月~金 9:00~19:00 9:00~17:00

※休館日、時間変更がある場合があります。 詳しくは図書館HPをご覧ください。



図書館公式X(旧Twitter)

@OIT Lib

大阪工業大学図書館報「ぱぴろにくす」No.123 (2024.4)

編集発行 大阪工業大学図書館

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1 TEL 06-6954-4108

http://www.oit.ac.jp/japanese/toshokan/index.html

8

FAX 06-6953-9499

